

令和4年度 石狩浜海浜植物保護センター事業計画（案）

環境基本計画	事業項目	R3年度		R4年度		
		成果・課題		目標	詳細	
	I. 施設を利用した普及啓発活動					
②自然との共生	1-1 館内(展示室ほか)					
	> 展示、自然情報等の更新(常設展、企画展など)	→	頻繁には更新することが難しかったため、方法や手段の見直しが必要である。	→	軽度な修正とフィールドマップの定期更新	フィールドマップの定期更新は今年度実施した監視員の作業中写真と職員が野外調査等で記録したものを展示
	> 環境学習施設利用の促進	↗	コロナ禍であっても多くの利用があった。保護センターとして伝えることの具現化を進めた。	↗	環境学習の募集強化、少ない人数でできる教材の見直し	アクティブラーニング、答えを自ら考えてもらうような体験への見直し・募集強化
	1-2. 自然観察園					
	> 体験学習利用を見込んだ維持管理	↗	ほりほりゾーンの拡大など新しい展開への準備ができた。	→	維持と活用	R3年度に整備したほりほりゾーンの維持管理と活用の推進
> 観察エリアの整備活用	→	再現の検討、環境教育のための整備を進めることができた。	↘	作業人数が減っても維持管理及び作業効率の向上を見越した業務の見直し	マニュアルの作成と業務の体系化	
①生物多様性の保全	1-3. ハマナス再生園(石狩浜ハマナス再生プロジェクト)					
	> 園内の整備、維持管理		再生園の作業等は委託事業	↗	現状の維持と効率の良い手法の検討	委託業務にて検討
	> 市民参加型のハマナス再生活動の実施	↗	コロナや天候の影響による作業の滞りや環境の変化など例年と比較できないことが多く今後の検証課題として考えていく必要がある。	→	引き続き市民参加と再生園の維持を検討	
	> ハマナス花卉・果実利用、ハマナス再生手法の検討			↗	石狩浜ハマナス再生協議会との連携した普及啓発	
①生物多様性の保全	1-4. その他					
	> 情報発信	↗	臨時閉館もネットを活用した普及啓発の実施を試みた。	→	新規事業の定着	定期的な情報の継続的な発信
	ホームページの更新	↗	ホームページを通じて色々な情報を更新できた。	→	現状維持	-
	通信「はまぼうふう」の発行	→	閉館後の報告として地元の回覧にしたり周知啓発を図った。	→	現状維持	-
	掲示板を利用した学習成果の発表、調査研究活動成果の紹介	-	掲示板ではないが、成果の紹介は随時できた。	↗	環境学習利用時の写真等を活用した定期的な掲示板更新	センターで実施した環境学習や、調査研究について多くの関係者に活用してもらう
	近隣施設による情報案内など	-	ビジターセンターや図書館(展示及び花壇)での普及啓発を実施した。	→	状況に合わせた情報の共有化	引き続き図書館等を活用
	> 各連携団体との事業協力	↗	道の駅厚田あいろーどでの活動に参加し、石狩市内での普及啓発ができた。	→	主業務の負担にならない程度に継続	保護センターの開館に影響のない範囲内で協力
	CISEネット ワーク、いしかり館ネットワー クなど	→	CISEネットでのイベント協力を実施した。	→	できる限りの横の連携を継続	
	II. 調査研究					
①生物多様性の保全	2-1. 収集・整理					
	> 標本・調査記録・自然情報にかかわる 収集・整理	→	維持管理、自然情報にかかる情報整理・記録等を実施した。	→	現状維持	-
	2-2. 野外調査					
> ハマボウフウ調査	↗	下準備の調査は予定通り取り進むことができた。	→	ハマボウフウの個体数及び過去のつながりなどのモニタリングの実施	アクションプランに合わせて検討	
> 聚富海岸植生 再生試験モニタリング 協力 (調査主体: 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)	→	目標区の植生調査については昨年度同様の調査を実施することができた。	→	継続協力	-	
	III. 環境整備					
②自然との共生	3-1. 施設内					
	> 保護センター施設整備 (自然観察園の園路 整備、小規模修繕の継続)	→	引き続き園路の修繕を継続して実施した。	→	利用状況に応じて実施	-
	3-2. 施設外					
> 施設周辺の観察路の維持、外来植物の除去など	→	監視員業務の中で取り組みを実施した。	→	センターとして必要な点に関して取捨選択する必要あり	アクションプランに合わせて検討	
①生物多様性の保全	3-3. 石狩浜海浜植物等保護地区					
	> 監視員による監視	→	体制が1名となったが監視員による適切な監視ができていた。	→	監視体制を継続したまま維持	-
	> 柵、ロープの維持管理	→	海浜地への進入も極めて少なかった。	→	引き続き現状を維持	-
> 保護地区の普及啓発	-	(R4年度より新規追加あり)	↗	ふれあい地区の認知度向上のため地元を中心に普及啓発を実施	他団体等の協力を得ながら実施	